浦添市美術館・金沢大学：主催

浦添市美術館特別講演会

スウェーデン王国の漆器と文化

日時　2018年 2月 3日（土）13：30~17：00

場所　浦添市美術館　講堂（入場無料）

沖縄県浦添市仲間1丁目9番2号　Tel：098-879-3219

大航海時代から世界に広がったアジアの漆文化。安土桃山時代から江戸時代にかけては非常に多くの漆器が海を渡り、ヨーロッパの国々へと輸出されました。スペインやポルトガルをはじめ、スウェーデン王国でも近年新たな南蛮漆器が発見されるなど話題となっています。今回スウェーデンから専門家を招き、海外での輸出漆器の調査に取り組む研究報告の紹介を通して、西洋人を惹きつけた漆器の魅力を感じていただきたいと思います。

1. 開会挨拶・趣旨説明

宮里　正子　（浦添市美術館）

南蛮漆器を所蔵するGripsholm城（小林公治撮影）

2. 基調講演

Maria Brunskog　（ウプサラ大学〈スウェーデン〉）

"History and culture of Swedish Namban lacquerwares"

（スウェーデンにある輸出された漆器の歴史と文化）【日本語への逐次通訳あり】

3. 研究報告

小林　公治　（東京文化財研究所）

宮腰　哲雄　（明治大学）

神谷　嘉美　（金沢大学）

聴講：無料
申込：不要

当日は、てだこウォーク・プロ野球キャンプのため、駐車場が混み合います。公共交通機関の利用や早めの入場などご協力をお願いいたします。